

第1回 滋賀県域メディア連携協議会 議事要旨

日時：令和3年3月1日（月） 15:00～16:30
（WEB会議形式）

【出席者】

日本放送協会 大津放送局、びわ湖放送 株式会社、株式会社 ZTV、滋賀県 知事公室 防災危機
管理局・土木交通部 流域政策局、気象庁 彦根地方气象台、近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所

【議題】

1. 滋賀県域メディア連携協議会の目的、規約について
2. 滋賀県域メディア連携協議会の取組について
 - (1) 河川カメラの活用
 - (2) 危険性のわかりやすい情報提供
 - (3) 地域防災力の向上
3. 今後のスケジュールについて

【意見交換】

① 河川カメラの活用に関して

- ・ケーブルテレビは比較的放送内容を変更し易いため、普段は平常時の河川映像を放送し、災害が発生しそうな時には、全て災害関連の映像に切替えることが可能である。
- ・各メディアがそれぞれ持っているコンテンツや災害に関わる映像を普段から配信していくことで地域防災力の向上を図れるのではないかと。

② 危険性のわかりやすい情報提供に関して

- ・コロナに関する二次元コードを放送中の画面に表示している。災害時も独自の二次元コードを表示することが多い。新たに「災害サイト」を追加すると視聴者が混乱しないよう、表示するタイミングを教えて欲しい。
- ・共同会見時に画面下や背景に二次元コードを表示することはできる。
- ・滋賀県内で大規模な災害が発生するタイミングで記者会見を開けないかと考えている。来年度以降に模擬的に共同会見をできないか。本格的な運用に向けて検証したい。
- ・会見に行く側の立場では場所が一箇所である方が望ましい。共同会見はスピード感が重要であることから、リモート開催でも良い。災害発生時に画質を気にする必要はない。
- ・台風接近時では、移動による二次災害も懸念されるため、リモートで早期に開催することが望ましい。動画等の情報は所定の場所に保存し提供して頂けるとありがたい。
- ・災害情報などは専門用語が並び理解し難い。事前に防災関連情報などを集めておくことはできないかと以前から指摘があった。
- ・過去の災害状況を映像で示したり、ハザードマップの中に近所のランドマークなどを示し

たりして「我がこと」に感じてもらうことが重要である。

- ・行政側がつくるリスク情報など色々あるが、住民にうまく説明する点が欠けている。
- ・浸水想定区域、洪水予警報、ダム放流など、行政も分かり易く素材を作成しているつもりであるが、住民に「伝わる」情報という部分で知恵をお借りしたい。
- ・いくら正確な情報を伝えてもその後に「どう行動すべきか」を伝えないと人は動かない。
- ・情報は伝えたから住民は逃げてくれるというのは楽観的過ぎる。全国を見ても一目瞭然である。皆でこの部分は知恵を出していくところである。

③ 地域防災力の向上に関して

- ・地域防災力の向上に関して、行政機関等が実施するマイ・タイムラインなどの取組について、その過程を特集することは可能か。
- ・自治体職員対象に気象情報によって避難情報などを考えてもらうワークショップ開催している。
- ・防災教育として、授業の教材に「マイ・タイムライン」の利用を考えている。もう少し分かり易いものに作り替えるか、学校の先生に説明の負担を掛けない様に「マイ・タイムライン」の作り方の説明動画(15分位)を作成し、一斉に展開していくことを検討している。
- ・防災ラジオ協議会は色々な働き掛けや提案を頂いている中で一緒に出来ることを行っている。ラジオを聞く方はテレビとは異なる聴者層でありその方々に対してもこちらから普及啓発ができないか考えている。
- ・防災ラジオ協議会の取組として、年に一回、FM6局とともに滋賀の防災に関する同じ特別番組を2時間生放送で配信している。来年度連携するアイデアがあれば、頂きたい。
- ・滋賀県が実施している防災カフェに関して、何か提案があればアドバイスを頂きながら開催できる状況である。
- ・ケーブルテレビではプログラムを柔軟に対応することができるため、「マイ・タイムライン」の関連動画を週に30回程度配信する事も可能である。

④ 今後の予定に関して

- ・河川カメラの活用は、映像配信されていないメディアと協定を結び進めていく。
- ・共同会見は来年度以降にリモート形式による試行と検証を予定する。
- ・防災関連情報の整理作成はこれまで同様に各機関単位で進める。
- ・マイ・タイムラインの普及や県内ラジオ局、防災士等と連携する取組を検討していく。
- ・今後も事務局でこれらの取組の進め方について検討し、関係者で協議しながら進めていく。
- ・次回協議会は10月頃を予定している。次年度出水期を振り返り、足りないことなどを確認しながら進めていく。

以 上